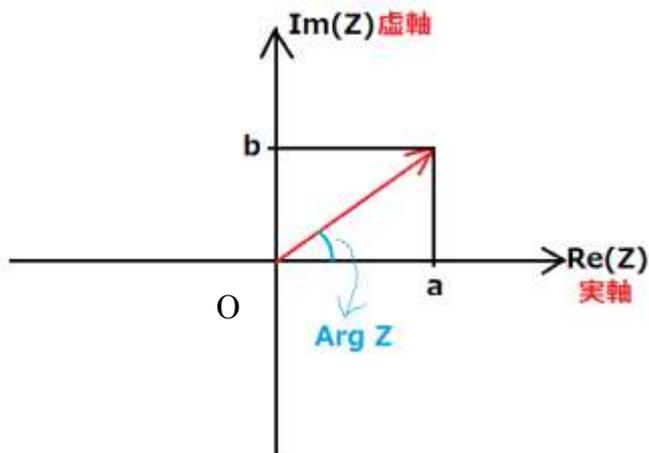


Q.(基礎問題精講数学 3 P42 例題 24)

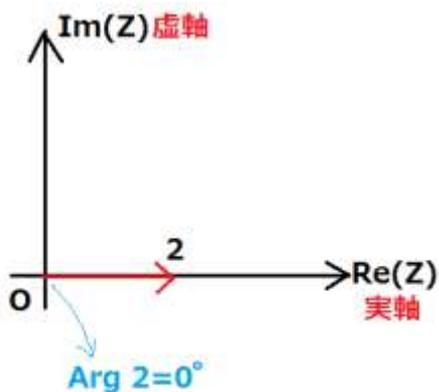
解説 p42 の下から 5 行目の『 $\arg 2=0^\circ$ 』について教えてください。

A. $\arg Z$ (Z は複素数)とは、 Z を複素数平面上に表したときの実軸となす角度のことです。反時計回りを正とします。

例えば $Z=a+bi$ のとき、 Z を複素数平面上に表すと下の図の赤い矢印になります。従って $\text{Arg } Z$ は以下の青い角度を表します。



いま $Z=2$ ですが、これを複素数平面上で表すと、下の図のように実軸と同じ向きになり、なす角は 0° なので $\arg 2=0^\circ$ となります。



このことから Z が正の実数のとき、 $\text{Arg } Z=0^\circ$ となることも理解できます。